

地域情報化の研究

◆キーワード

地域情報化 地域メディア

◆産業界の相談に対応できる分野

地域における情報ニーズの測定

教育学部情報文化課程 教授

岩佐 淳一

TEL 029-228-8320

FAX 029-228-8320

e-mail iwasa@mx.ibaraki.ac.jp

一言
アピール

地域に導入される情報技術やメディアのニーズを測定します。

研究概要

地域情報化とそれを担う地域メディアの研究を行っています。現在、産業界のみならず、地域や人々の暮らしなどあらゆる部門で情報化が進展しています。こうした情報化が地域や人々の生活にどのような影響を及ぼしているのかについて、質的・量的両面から調査を行っています。

これまで、北海道から沖縄の八重山諸島まで日本全国の事例を調査してきました。北海道のとあるCATV局の調査では最新の情報ハード機器が導入されたにもかかわらず、住民はそれらをほとんど利用していないことに注目し、その原因が、低い情報リテラシーのみに起因するものではなく、心理社会的な要因が大きく働いていることを発見しました。また、熊本県の事例研究では地域情報の生産的創造や産出においては、地域リーダーよりも、活動を陰で応援したり、地域の外部に活動を媒介するようなファシリテーターの方が適していることを指摘しました。

茨城県に関連した研究としては、富山県と並んで我が国初の放送となった県域ローカルデジタル放送の視聴行動調査を行いました。この調査では水戸市民のメディア接触の実態や地域愛着度、それらの関係を明らかにするとともに、デジタルテレビの視聴には5つのタイプが存在することを発見しました。

以上のように、地域のメディアの具体相とそこに働く論理の解明を行っています。



これはある村に導入されている牛舎監視ロボットです。このシステムは、村のすべての酪農家に設置されているのですが、使っている農家はほんの数軒にとどまっています。このような技術はどうすれば利用促進が図れるのでしょうか。

参考文献：

岩佐淳一・浅岡隆裕・内田康人「ブロードバンド技術を活用したCATV事業の動向とその受容」林茂樹編『地域メディアの新展開-CATVを中心として』中央大学出版社、2006年。

岩佐淳一「住民ディレクターによる地域情報の創出・発信」林茂樹編『地域メディアの新展開-CATVを中心として』中央大学出版社、2006年。

岩佐淳一「ケーブルテレビに見られるビジネス化-MSOをどう考えるか」田村紀雄・白水繁彦編『現代地域メディア論』日本評論社、2007年。

何に
使える？

地域に導入される情報ツールのニーズ測定・分析